



園児や児童の読書活動推進

「第2次御前崎市子ども読書活動推進計画」が完成したことを受け、同計画策定委員長の吉住幸子さんが6月30日、市役所を訪れて河原崎教育長に報告しました。同計画の目的は本市の園児や児童が本に親しむ機会を増やすこと。吉住委員長は「子どもたちには、コロナ禍のなかで本を手に取り、考えたり想像したりする時間を作ってほしい」と期待しました。

◀計画の内容を説明する吉住委員長



建設業組合員ら砂丘を清掃

7月2日、浜岡砂丘でボランティアによる清掃活動が実施されました。これは、県内有数の観光地である同砂丘が織りなす美しい景観の維持を目的としています。清掃活動には市建設業組合、市、県が協力して参加。組合長の西島正浩さんは「今後も海岸を清掃することで、御前崎の海をきれいにしていきたい」と意欲を見せました。

◀清掃活動に取り組む市建設業組合員ら



食卓を囲んで親子だんらん

多忙な子育て家庭がゆっくりとだんらんできるようにと、中町にある居酒屋「情熱御前崎酒場ありがとう」が7月7日、同店で「誰でも食堂もぐもぐ」を開催しました。市内の親子26人が訪れ、カツオを使ったご当地グルメの御前崎カレーを味わいました。参加者は「とてもおいしかった。食事の支度をせず、子どもの話に耳を傾けることができた」と笑顔を見せました。

◀ご当地カレーを食べてだんらんする家族連れ



飼育してきたウミガメ放流

学校の伝統としてアカウミガメを飼育している御前崎小学校の児童が7月9日、下岬海岸で子ガメ6頭を放流しました。子ガメは何度も打ち寄せる波に押し戻されたり体に藻が絡まったりしていましたが、その度に育ての親である児童が手助けしていました。

児童は、子ガメが引き波に乗って海に姿を消すと「御前崎に戻ってきてね」と手を振って見送りました。

◀児童らが見守る中、海を目指して進む子ガメ